



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2014 年 4 月のロータリーレポートは 1 ドル = 102 円  
地区大会は 10/4 ~ 10/5



## 例会優り

第 741 回例会  
ホテル日航 5F  
4/24 (木) 19:00  
例会出席率 19/37 51.35 %  
3 月の平均出席率は、69.50 %

武藤清秀 SAA

## 点 鐘



ロータリーソング  
『 それでこそロータリー 』  
四つのテスト  
会長 挨拶：まだ、朝晩と少し寒いですがとても良い時季になりました。  
一年中で一番良い季節ではないでしょうか。  
韓国船の事故ですが今日で 8 日目になります。潜水士 750 人を動員しておりますが、まだまだ時間がかかりそうです。何事もそうですが、何か事故があった時こそ

迅速な対応と決断力がとても大事だということを今一度再確認させられた次第です。  
昨日の新聞に厚生労働省は積立て不足に陥っている厚生年金基金の解散を審査する専門委員会を 5 月に設けるとありました。専門委員会は国から預った資金で損失を抱えている「代行割れ基金」について解散後に加入企業が国に資金を返還する計画が妥当かを調べるとのことです。昨年 6 月に「厚生年金基金制度の見直しに関する改正法」が成立し、5 年以内に「基金存続か解散」のいずれかの選択を求められています。大半の基金が解散を選択せざるを得ない状況になっています。当基金も解散を決定しましたが、国の決定まで早くて 2 年はかかるそうです。代行割れ負担が、日が経つにつれ大きくなるので大変心配なところです。



ゲストのご紹介：(卓話者) 金沢大学医学部 神経科精神科子どものこころの発達研究センター特任教授 菊知充 様、2610 地区 石川第 1 分区 B ガバナー補佐 原 勉 様  
ビジターのご紹介： 金沢香林坊 RC 中川 可能作 様

・ 小幡 謙二 様

## クラブ例会予定 2013-2014 年度

- 4/17 今年度委員会事業振り返り  
理事役員会
- 4/24 菊知充 様 (金沢大学医学部神経科精神科  
子どものこころの発達研究センター特任教授)
- 5/1 休会
- 5/8 小林忠雄 様 (北陸大学国際教養学科教授)
- 5/15 クラブフォーラム・理事役員会

## 2013 ~ 14 理事・役員 委員会 ★太字：理事役員

(役員) 会長：野城勲 エト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子  
副幹事：井口千夏 会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明  
(理事) クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満  
井口千夏 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之 川きみよ  
ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智  
奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 社会：○谷伊津子  
辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子  
喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫  
炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：永原源八郎 ロータリー財団・米山寄付：  
○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 広報委員会委員長：村田祐一 副：江守道子  
広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 ロータリー情報：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホーム  
ページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生  
理事会オブザーバー・アドバイザー： パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智  
監査 後出 博敏  
長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間  
京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永  
例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00  
事務室 ライブ 1 ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局) 村木早苗  
E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/  
事務局執務時間 月火水金 9:00 ~ 15:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00 木 15:00 ~ 20:00  
休日 (土日祝日) 幹事 上杉輝子

## 《 食 事 》

### 幹事報告/委員会報告

**上杉輝子幹事**：今日はたくさんのお客様に来て頂き、ありがとうございます。菊知先生、よろしくお願いたします。来週5/1の例会は休会です。次年度の8RCロータリー手帳の原稿を回覧しますので確認をお願いします。

**委員会報告**： なし



### ニコニコBOX

¥ 18,000- 本年度 ¥ 574,100- 残高 ¥ 5,342,814



**原ガバナー補佐**：お世話になります。金沢香林坊RC **中川様**：小生がいつもお世話になっている菊知龍雄パストガバナーのご息が卓話されると聞き駆けつけました。皆さんご無沙汰しております。**金沢香林坊RC 小幡様**：ご無沙汰しております。ストレスがたまったらいつでもお越し下さい。私が診察します。**野城会長**：菊知充様、本日の卓話楽しみにしています。原ガバナー補佐様ようこそ。カレーの日には連絡しますのでまた来て下さい。**上杉幹事**：4月10日、北ロータリーさんとの合同例会の出席者会費の中より9,000円をニコボックスに入れさせて頂きます。**炭谷会員**：原ガバナー補佐、本日はご苦勞様です。菊知先生、本当にありがとうございます。今夜の卓話楽しみにしています。北山会員：菊知先生、最新の医学勉強させて頂きます。

### 講話の時間

#### 『 自閉症スペクトラム障害の脳の特性 』



金沢大学医学部 神経科精神科 子どものこころの発達研究センター  
特任教授 菊知 充 様

プロフィール：

菊知 充 (きくち みつる) S43年7月5日生まれ 石川県加賀市で生まれる  
実家は、加賀こころの病院。

金沢大学医学部 1994年卒 神経科精神科 入局

ベルン大学附属精神病院 精神生理学教室 客員研究員 (2004年～2005年)

金沢大学医学部附属病院 神経科精神科 助手 (2005年～)

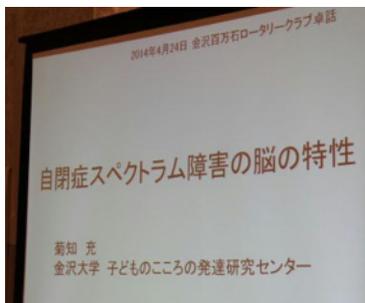
金沢大学 子どものこころの発達研究センター 特任准教授 (2011年～) 特任教授 (2014年～現在)



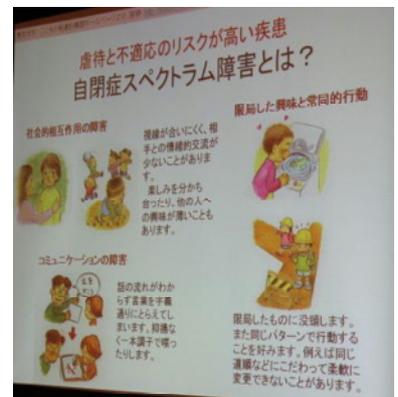
最近の研究は、産学連携で、幼児に優しい脳機能測定装置の開発と、研究を進めております。特に、幼児用に特化した脳磁図計の自閉症スペクトラム児童への診断応用を目指して研究をしています。臨床としては、うつ病から認知症まで幅広く、一般精神科医として診療をしています。

最近の分担著書 「自閉症という謎に迫る (小学館新書)」

#### 卓話概要：



普通の発達とは違う「何か」が、自閉症の脳内で起きている。その「何か」の起点をたどろうとすると、幼児期以前にまでさかのぼる必要がある。すなわち、幼児期以前の脳研究が必要になる。これこそが脳科学における難問であった。幼児においても、やさしい環境で脳研究を可能にした『自閉症スペクトラム障害の脳の特性』。その思いから、金沢大学では2008年から国内唯一の幼児専用の脳磁測定装置を開発し、幼児



脳機能測定に挑戦してきた。自閉症スペクトラム障害者は、言語的能力やコミュニケーション能力には質的な違いがあり、普通の発達の人と比べて評価すると「劣っている」という不本意な評価が下されることがある。しかしながら、自閉症スペクトラム障害には「優れている」という面も少なからず存在することを忘れてはならない。我々は、どのような脳の特徴が、自閉症の優れた視覚性の能力に関係しているかを調べた。その結果、自閉症スペクトラム障害児群において、能力と関連する脳のネットワークが右脳の後方部に見出すことができた。

さらに、無作為に脳機能の特徴づける研究を進めていくと、「優劣」よりも「枠におさまらない」という

表現が、「自閉症の多様性に満ちた脳」にふさわしい表現であると感じるようになった。多くの人々が、「自閉症の



多様性に満ちた脳」という事実気が付くことによって、やがては「その長ずる所を尊び、その短なる所を忘る(老子)」社会が訪れると信じたい。すなわち、いろいろな多様性がある人にとって住みやすい社会が訪れることを切に願っている。

### 点 鐘



松尾久義パストガバナーの 御逝去を 心からお悔やみ申しあげます。  
1925.7.24 ~ 2014.4.27

1999-2000 ガバナー (金沢東 RC)  
ながらくパストガバナーとして活躍され、規定審議会の地区クラブ代表議員として、ロータリアンの指導をされました。

### パストガバナーからの手紙

175回 炭谷 亮一

#### 名著探訪その6 「奥の細道」 ～芭蕉 苦悩の果て～

「月日は百代(はくたい)の過客(くわかく)にして(月日は永遠の旅人で) 行かう年も又旅人也」で始まる「奥の細道」は紀行文学の最高傑作である。そして俳句を愛する人々にとって聖典の一つである。そこに詠み込まれた句は、座して閑吟する遊興の句ではなく、旅にあって苦吟する修行の句が大半を占め、俳聖芭蕉の魂の叫びであり、自身の創作の軌跡であり、俳諧師としての集大成と言える作品である。

芭蕉と供に俳句を愛した若き主君が芭蕉が23歳の時に突然死去し、武士を捨てることへの苦悩、俳諧師として生きる為にステップアップする為の京都での苦悩の6年間、江戸へ出て俳諧宗匠として5指に入る名声を得たが、当時の宗匠の世界では、俳諧道の探求よりは、弟子の数を競い、人気を争う俗悪さに苦悩し、遂に37歳で俳諧宗匠の稼業を捨て、隠者の道を選んで深川に居を移した(現在でこそ俳句は文学の一つとして高く評価されているが、当時は金持ちの戯言のごとき遊芸、だんな芸の一つでしかなかった)。著名な俳諧宗匠であっても生活は苦しく、名声を得た後も神田上水工事の事務職を副業にしていた。引退を知り、かねてから伊賀出身の元武士であり文人芭蕉に注目していたお上は、早速スカウトに乗り出し、公儀隠密として地方へ出向いて情報収集してほしい、ついては今後の生活費と旅の経費はすべて当方が負担するとの条件に、願ったり叶ったり、これでいつでも自由に念願であった旅に出掛けられる、長年旅に憧れていた芭蕉は、以前「古人も多く旅に死せるあり」と書いた。頭にあった古人なる人物は「西行」であったろう。芭蕉が「西行」を大いに意識し、尊敬していたのは確かなところであり、「奥の細道」の中にも「西行」への言及がある。〈全昌寺・汐越の松〉の段で、汐越の松というものを見物したことを書き、いきなり「西行」の歌を引用する。

「終宵嵐に波をはこばせて 月をたれたる汐越の松」

～西行言わく～

此一首にて教景尽たり。もし一弁を加えるものは、無用の指を立てるがごとし。つまり、汐越の松を描写するのに、この「西行」の歌があればすべて言い尽くしている。これに何か言葉を加えようとするのは、手に6本目の指を足すようなものであると言っている。

芭蕉の苛烈なまでの俳諧に対する求道精神を結果的に手助けしたお上の慧眼に感心させられる。江戸時代は天下泰平の世であったが、地方での情報収集はルティーンワークとして必須であり、芭蕉の様な文化人なら、その眼力、感性、分析力、表現力に期待したはずである。事実芭蕉の報告書にはうん～となり声をあげたくなる様な、的確な事実把握と秀逸な文章に、㊦扱いながら公表したい衝動に駆られたのではないだろうか。

当時の江戸庶民にとっての最大の憧れは旅に出ることである。しかし勝手気ままに旅することは出来ず、お伊勢参りとか神社仏閣への詣でを建前に通行手形を取得し、途中温泉で骨休めしたり、京都や大阪に出て芝居見物するなど大いに楽しんだ様である。しかしある庶民の日記によれば、3ヶ月の旅費用は一年分の収入に相当するらしく、

庶民にとっての長旅は一生に一度出来るか、否かであったろう。

以上の様な当時の状況からすれば、お上からの依頼は芭蕉にとって天にも昇る、或いは踊り出したい位の気持ちであったろう。事実芭蕉は41歳の時に初めて旅に出て、以降51歳で没するまでの10年間に、通計4年3ヶ月旅をしている。そして「野ざらし紀行」「鹿島詣」「笈の小文」「更科日記」「幻住庵記」「嵯峨日記」そして「奥の細道」を著している（お上の支援なしではこれらの名作を今日我々は目にすることは出来なかつたろう）。

「奥の細道」の旅は、1689年芭蕉45歳の時に弟子の曾良を伴って、実に5ヶ月に及ぶ長旅であった。当時の旅はワラジを履いて自身の足で歩く旅であり、1日15キロから50キロ歩いたと言うからすごい。街道や宿場が整備されているとは言えず、ところによっては野宿したり、道なき道やけもの道を進み、追いはぎ強盗、自然災害、食中毒等の病、常に危険と隣り合わせ、いや死と隣り合わせと言った方が良く、覚悟の上の旅だったのであろう。これでは「奥の細道」ももの悲しい、淋しい、「陰」の紀行文にならざるを得ない。海外の紀行文学の代表と言えるゲーテの「イタリア紀行」では、暗く寒いドイツから太陽の光いっぱいイタリアへ来たゲーテは、イタリアの明るさ、陽気さ、人間の生命力に感動して、「陽」の紀行文を書いた。その違いに驚かされる。

芭蕉は長旅から江戸に帰った。49歳の正月を久しぶりに江戸で迎えた。しかし今や俳諧の最高峰の名声を得た芭蕉は接客に追われ、その合間に執筆すると言う多忙な日々だった。「奥の細道」は最終的に脱稿、校正、清書にいたるまで5年かかった。文庫本にすれば50ページ足らずのものをまとめるのにそんなに時間がかかるはずがないが、芭蕉にとって「奥の細道」は特別の思い入れのある作品だったのであろう。事実紀行文、旅行ルポは当時もノンフィクション風を書くのが常識であったが、芭蕉はノンフィクション風には書いてはいるが、実は多分にフィクションを取り入れた文学作品にしようと試みた様だ。それは同行した曾良の克明な日記の発見により、芭蕉が江戸に帰ってどの部分をフィクションにしたかは、研究者により二人の文章の比較から明らかになった。

1694年5月、芭蕉は「奥の細道」の清書を携えて故郷の伊賀を訪れた。9月に近江、京をまわって大阪に着いた時、病に倒れ、病状は日を追って悪化し、10月12日、多くの門弟に看取られ51年の生涯を閉じた。苦悩の末に自身の才能を開花させ、俳諧の王道を歩んだ人生だった。人並みな家庭を持つことは終生なかったが、多くの門人、門弟、俳句の愛好家の尊敬と愛に包まれた幸せな人生だったと言える。

#### 2014 - 15 年度のための地区研修協議会のお知らせ

ガバナー湯浅外志男 ガバナーエレクト 永田 義邦

ホストクラブ/高岡万葉ロータリークラブ 会長 稲谷 嘉則

実行委員長 岡本清右衛門

特別出席者の方々並びに各クラブの出席対象者の皆様、新会員(入会3年未満)の出席

#### 2014-2015 年度 RI テーマ : Light Up Rotary ロータリーに輝きを

1.開催日時 平成26年5月25日(日) 13:00 ~ 17:10

2.開催場所 富山県高岡文化ホール

富山県高岡市中川園町 13-1 TEL 0766-25-4141

3.出席対象者 【次期クラブ会長会議】

ガバナー、ガバナーエレクト、現・次期地区幹事、現・次期地区

財務委員長、現・次期地区監査委員長、次期クラブ会長

※オブザーバー:ガバナーノミニ、2015-16 年度 [地区幹事、地区財務委員長]

【全体会議】次期 [会長・幹事0 会計・理事・役員・各委員長]

新会員(入会3年未満)、特別出席者

4.登録料 1名4,000円(特別出席者の方々も合わせてご登録をお願いいたします) ※当クラブは、クラブが負担します。

登録締切日 2014年4月25日(金) → クラブメ切 4月24日(木)

#### プログラム概要

【次期クラブ会長会議】 多目的小ホール  
11:00 登録・受付開始(全体会議前に開催)

11:20 次期クラブ会長会議(次年度予算の承認 他)

12:00 終了 ※クラブ会長会議にご出席の皆様にはお弁当を準備しております。

【全体会議】 大ホール

12:30 登録・受付

13:00 開会点鐘

13:10 ガバナー挨拶他

13:25 ガバナーエレクト所信表明他

14:00 地区研修・協議会および分科会の主旨表明

14:10 休憩 一各分科会会場へ移動一

14:30 ~ 16:00 各分科会

16:00 休憩 一大ホールへ集合一

16:20 分科会報告・ガバナー所感他

17:10 閉会点鐘

#### 地区協議会 (District Assembly) について

目的: RCの指導者たちが、次のような点において必要な能力を育成し、知識を持ち、やる気を起こすよう図ることで会員基盤を維持、そして/もしくは増強し、地元地域社会及び他の国の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施して成功させ、プログラムへの参加と資金寄付を通じてロータリー財団を支援することである。

構成 研修に参加する各分掌別のグループとして次のような構成をとるものとする:

- 責務
- 指針となる原則一方針と手続き
- 各チームを選任し研修させる
- 行動計画を開発する
- 資料
- 成功した事例の検討
- 実際に応用: 計画を組み立てる
- 問題解決

学習目的 各構成事項の学習目的は、研修に参加している各分掌別のグループのニーズに基づいたもの。 ●

会員の勧誘と入会式 ● 新会員オリエンテーションと個人指導 ● クラブ広報活動 ●

クラブ管理運営 ● 奉仕プロジェクトの成功 ● 地域社会奉仕プロジェクトのためのクラブ募金活動

- ロータリー「財団
- クラブ会長の指導力確立

参加者 クラブ会長エレクト及び、次ロータリー年度に指導的役割を果たすようクラブ会長エレクトから任命された RC 会員とする。地区協議会の時期: 4月もしくは5月中旬に、丸1日を使って行う計画とする。

(要覧 P42・216・263) ロータリー情報マニュアル P194 2005 より